

◆ 日本キンボール連盟功労賞 ◆

この度、キンボールジャパンオープンの第10回開催を記念し、地域におけるキンボールの健全な普及、発展に貢献し、もって生涯スポーツの振興に顕著な成果をあげた個人、および日本キンボール連盟の運営、発展に顕著な成果をあげた個人に対して功労賞を授与することとし、選考の結果、次の10名の方を表彰することとなりましたので、ここにご報告いたします。

★受賞者一覧

(敬称略・五十音順)



青木 高
日本キンボール連盟顧問

- ・2001年に日本キンボール連盟初代会長に就任。全国へのキンボール普及および生涯スポーツ振興に大いに寄与している。



東 克彦
日本キンボール連盟理事、石川県キンボール連盟理事長

- ・石川県連盟設立以前より、石川県内外の地域、学校などへのキンボール普及推進活動を精力的に行う。
- ・石川県連盟設立後は、役員として石川県連盟の組織強化と発展に尽力。
- ・普及活動として、夏休みに子どもたちのために巡回キャラバン事業を企画、実施。対話を重視し、子どもと同じ目線で考えて行動することが信条。



木村 貞樹
日本キンボール連盟副会長、滋賀県キンボール連盟副会長

- ・1999年の日本キンボール連盟設立時よりの初代理事長。わが国の生涯スポーツおよび競技スポーツとしてのキンボール定着を目指し、自ら指導を熱心に行うなど率先垂範し、組織の礎を築いた。
- ・2000年の初のジャパンオープン開催につき、中心的役割を果たす。
- ・滋賀県連盟の初代理事長として、地域のキンボールの普及推進活動にも尽力。



杉浦 正勝
日本キンボール連盟理事および監事、三重県キンボール連盟副会長

- ・三重県連盟の初代理事長として、三重県を中心として地域のキンボールの普及推進活動に尽力する。また県連盟の組織のまとめ役として長く活躍する。
- ・2001年には全国スポレク祭において、初のフリー参加種目大会開催の中心的役割を果たす。



高見 彰

日本キンボール連盟理事長、兵庫県キンボール連盟会長、国際キンボール連盟理事

- ・日本キンボール連盟2代目理事長として、組織強化など発展に多大なる貢献をしている。
- ・兵庫県連盟会長として、現在まで地域のキンボールの普及推進活動に尽力する。
- ・韓国への普及、ワールドカップの誘致、ワールドカップ日本選手団長などを精励し国際的に活躍。
- ・各種マスメディアへの積極的なPR活動の推進実施。



前山 直

日本キンボール連盟副理事長、大阪府キンボール連盟副会長

- ・普及担当として、対象の年齢を問わず、全国各地への講習会での指導を、年50回以上のペースで長きに渡り行う。
- ・各大学のクラブを通して、キンボールの普及とともに技術の向上を図る。
- ・大阪府連盟役員として、立ち上げから現在まで府連盟の組織の中心的存在として活躍。



松井 外喜子

日本キンボール連盟理事および監事、大阪府キンボール連盟会長

- ・大阪府連盟役員として、立ち上げから現在まで府連盟の組織の中心的存在として活躍。
- ・初期より大学の正課体育の教材として取り上げ、大学生を対象に普及。
- ・ボランティア活動の一貫として、キンボールクラブの学生と共に地域市民を対象に普及推進活動を実施。



百瀬 修至

日本キンボール連盟常任理事、東京都キンボール連盟会長

- ・日本キンボール連盟の関東地区での事業の中核的役割を担う。
- ・東京都連盟会長として、立ち上げから現在まで都連盟の組織の中心的存在として活躍。
- ・体育指導委員のネットワークの活用、リーグ戦の継続的实施など、類まれなる指導力のもと、都内の多くの地域への普及推進活動を展開。



山本 和裕

日本キンボール連盟参与、三重県キンボール連盟相談役

- ・初期より日本キンボール連盟役員として、社会体育、学校体育の分野においてのキンボール定着に情熱を燃やす。
- ・三重県連盟の初代副会長として、地域のキンボールの普及推進活動に尽力する。
- ・2001年には全国スポレク祭において、初のフリー参加種目大会開催の導入から実施まで総指揮的役割を果たす。



山本 肇

日本キンボール連盟理事、岡山県キンボール連盟理事長

- ・岡山県連盟理事長として、立ち上げから現在まで地域のキンボールの普及推進活動に尽力する。
- ・岡山県内において、障害者スポーツ大会などの指導を数多く実施。
- ・2007年には全国生涯学習フェスティバル(まなびピア)において、初の全国キンボール大会を行い、その中心的役割を果たす。